男女共同参画会議 第16回重点方針専門調査会	資料５
平成30年９月26日	

（通し番号11・12）

「女性活躍加速のための重点方針 2018」

Ⅰ　女性の活躍を支える安全・安心な暮らしの実現

１．生涯を通じた女性の健康支援の強化

b）スポーツを通じた女性の健康増進

（文部科学省説明資料）

女性アスリートの育成・支援プロジェクト

（前年度予算額：230,402千円）
31年度概算要求額：230,402千円）

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等における女性アスリートの活躍に向けた支援や、ジュニア層を含む女性アスリートが健康でハイパフォーマンススポーツを継続できる環境を整備するために、女性特有の課題の解決に向けた調査研究や、医・科学サポート等を活用した支援プログラムなどを実施する。また、女性特有の視点とアスリートとしての高い技術・経験を兼ね備えた女性エリートコーチを育成するプログラムを実施する。

1

女性アスリート戦略的支援プログラム

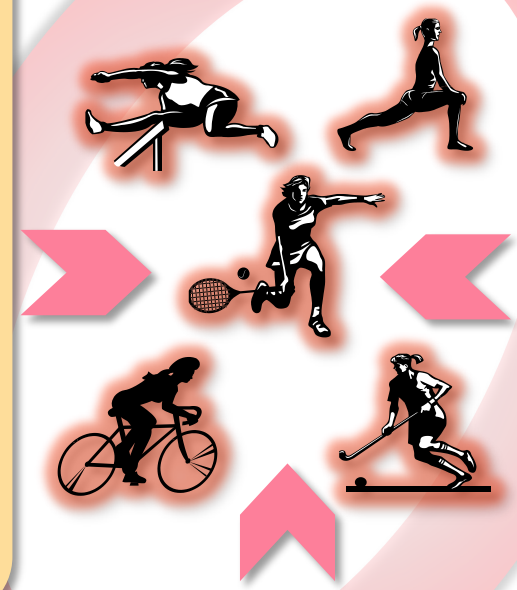
女性アスリート支援プログラム

・女性特有の疾患、障害等における医学サポート
・成長期における医・科学サポート（ジュニアアスリートや保護者、指導者向け講習会など含む）
・妊娠期、産前産後期、子育て期におけるサポート
・女性特有の課題と知見について研究者・アスリート・指導者等で共有するカンファレンス

女性エリートコーチ育成プログラム

女性特有の視点とアスリートとしての技術・経験を兼ね備えた女性エリートコーチを育成するため、例えば、引退を予定しているアスリートを対象にしたプレイングコーチも含む、女性エリートコーチを育成するモデルプログラムを策定・実施する。

女性アスリートの国際競技力向上



女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究

女性特有の課題の解決に向けた調査研究を実施し、その成果を女性アスリートや指導者等の競技現場に還元する。特に、「パラアスリート支援」、「女性アスリートの直面する健康課題の解消」に関連する調査研究を実施する。

【参考】

31年度要求額：11,000,000千円の内数

女性スタッフの配置の支援（競技力向上事業）

競技団体において、女性トップアスリートを身近な立場で支える女性スタッフの配置を支援する。

女性アスリートの強化支援（競技力向上事業）

女性競技種目において不足している競技大会をモデルプログラムとして実施することなどにより、高水準の競技機会と教育プログラムを提供し、女性アスリートの国際競技力向上を図る。

女性スポーツ推進事業

（ 前年度予算額：28,866千円）
31年度概算要求額：54,000千円

事業概要

スポーツを通じた女性の活躍促進に向けて、女性のスポーツ実施率の向上のためのキャンペーン等の実施や、女性スポーツ指導者の育成支援、スポーツ団体における女性役員の育成支援を行う。

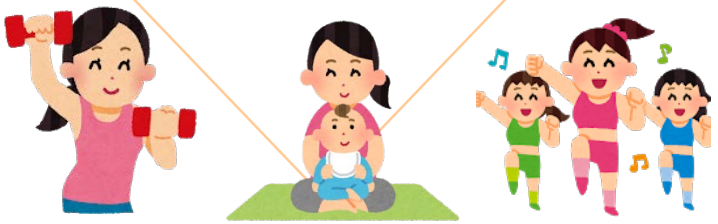
→ スポーツのあらゆるレベル、あらゆる職務、役割における女性の参画を促進

参加促進会議の開催

女性のスポーツ参加促進

主に若年期女性の運動不足による健康課題への理解を促進するとともに、生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境を促進する。

- 「女性スポーツ促進キャンペーン」の実施
- 女性スポーツアンバサダーの任命
- 健康課題とスポーツの実施効果に関する情報発信



女性スポーツ指導者の活動促進

女性スポーツ指導者の活躍が期待される、女性に対するコーチングや運動促進のための指導プログラムを作成し、研修を実施する。

- 指導プログラム開発・実施

スポーツ団体における女性役員の育成

女性役員の採用及び養成システムの構築・改革を目指すスポーツ団体を支援する。

- 研修の実施・ネットワーク構築支援
- 人材バンクの構築

女性スポーツネットワーク連絡会の開催

スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保

スポーツを通じた共生社会の実現